



藜 沼 一 弘 議員

質問方式
一括質問
一括答弁

佐野市内の
小中学校統合について

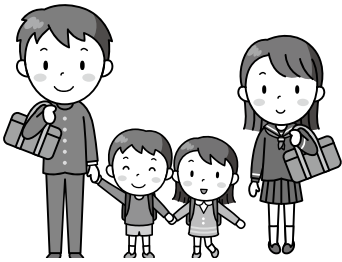
Q 田沼西及び葛生地区の施設一体型小中学校の開校に向けて、地域住民や保護者などのような合意形成を行ったのか、従来の併設型の小中学校ではなく、なぜ義務教育学校とするのか。また、統合時の学名校名、校歌、制服、通学等をどのように検討していくのか。

A 教育総務部長

平成25年7月から各中学校区で地域住民、保護者を対象とした懇談会を開催し、説明、ご意見を伺い、ご理解をいただき開校に向けての協議への参加など、ご協力をお願いしました。義務教育学校としては、効果的な小中一貫教育が可能になり、国・県からの支援が受けられるためです。統合時の校名、校歌、制服、通学等に関しては、地域やPTA代表者、学校と教育委員会による開校準備委員会において、検討を行い、その後、保護者からの意見を伺うなどやりとりを重ね決定します。

その他の質問

☆佐野市民病院の民営化について



菅 原 達 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答

高齢者が安心して
元気に暮らせる
街づくりについて

Q 「まちなかカフェ」を中心市街地へ開設することで、高齢化率の高い市街地に居住をされる高齢者を始め、多くの高齢者の外出が促され、中心市街地の活性化や、バス・電車などの公共交通の利用促進にも寄与すると思うが、どのように考えているのか。

A 健康医療部長

現在、開設している「いきいき元気館 たぬま」の認知症カフェは少しずつ周知が図られ参加者も増加しています。今後は、実績や開設による効果等を検証したうえで、認知症の方や家族の方だけでなく、さまざまな地域の方が自由に参加できる認知症カフェを中心市街地に設置することを検討します。それにより、市内居住の高齢者の外出が促進され、中心市街地の活性化及び公共交通機関の利用促進にもつながると思います。

その他の質問

☆防災士をリーダーとした地域コミュニティの醸成について



▲ いきいき元気館たぬま内にある認知症カフェ



山 菅 直 己 議員(政友みらい)

質問方式
一括質問
一括答弁

「ごみ屋敷」
対策について

Q 悪臭や害虫の発生、ごみの飛散など周辺の環境に与える悪影響や火災防止の対策など市民からの苦情にどのように対応しているのか。
抑止力も必要だと思うが、きれいなまちづくり推進条例を改正して行政代執行を可能にするなど考えられないか伺いたい。

A 市民生活部長

ごみ屋敷の原因者に対して、苦情があった場合にはその都度、必要に応じて訪問し、警察にも協力をいただき、ごみを片付けるよう繰り返し指導してきました。ご指摘の抑止力としての行政代執行を含めたごみ屋敷対策条例については、今後調査研究を行い、その結果、条例を制定する場合はきれいなまちづくり推進条例を改正して定めることも含め検討していきます。

その他の質問

☆市長の政治姿勢について
☆空き家の適切な管理について

